

ひとにやさしい子
がまんづよい子
しゅうちゅうして学ぶ子

学校だより

ひがし

—第11号—

令和6年6月17日
西海市立西海東小学校
文責 校長

今年も豊作に！田植えがんばりました！

5年生では総合的な学習の時間で「稲作」を学習しています。今年も6月10日（月）に待ちに待った田植えを実施しました。どろんこになりながらも、田んぼ一面に苗を植えることができました。秋の収穫が楽しみです。



「西海学」に行きました！

6月12日（水）に、西海の歴史に触れる西海学研修に出かけました。ガイドの方々の熱心な語りに引き込まれ、横瀬浦公園、中浦ジュリアン記念館、七ツ釜鍾乳洞の見学を楽しみ、西海の地が西洋とつながりのある、とても歴史のある場所であることを学ぶことができました。

野外宿泊学習に行きました！

6月13日（木）、14日（金）に、5年生が西彼青年の家へ野外宿泊学習に行ってきました。アドベンチャー活動やフィールドワークゲーム、カレーライス作り等の体験活動を実施しました。天気にも恵まれた2日間、大自然の中で寝食を共にした有意義な体験ができました。



今日からスタートした「東っ子の心を見つめる教育週間」の見どころ

- 17日（月）は『全校朝会』があり、命の大切さについての校長講話を行いました。
- 18日（火）は『クラブ活動』があります。また夜には、『地区PTCA』があり、家庭・学校・地域の三者が一堂に会し、子育ての課題や教育環境について語り合い、心豊かな子どもの育成を目指します。
- 19日（水）は『水泳学習』が、スタートします。また校区内の民生委員・主任児童委員の約10名の皆様が学校に訪問され、地域で育つ子供たちについて、情報や思いを共有します。
- 20日（木）は、低学年の『授業参観・学級懇談会』です。また、学校保健委員会を開催し、『救命救急講習会』を開催します。
- 21日（金）は、高学年の『授業参観・学級懇談会』です。

『33この机』～校長講話～

本日から、学校では「東っ子の心を見つめる教育週間」が始まりました。教育週間中、たくさんの学校行事や体験学習を計画し実施しますが、この教育週間の一番の目的は、「いのち」の大切さを考えることです。そこで、教育週間のスタートにあたり、本日の全校集会で、絵本『33この机』を子供たちに紹介し、命の大切さについての校長講話を行いました。

この絵本『33この机』には、我が子を交通事故で亡くした思いにふれることはもちろん、朝の集団登校でパトロール隊の方々がどのような気持ちで東っ子を見守ってくださっているのかということ、たった一つの命だからこそ「自分の命」「友だちの命」を大切にしなければならないこと、そして「命」という時間を大切に過ごさなければならないことを話しました。「命という時間を大切にする」ために、是非4つのことを実行してほしいと伝えました。



- ① 命という時間を上手に使う。
- ② (命という時間を失わないために) 安全に気をつけた行動をする。
- ③ (命という時間を幸せに過ごすために) 自分以外の人も大切にすること。
- ④ 命という時間が(代々)繋がっていることに感謝すること。

この絵本『33この机』には、次のようなあとがきがあります。

～ あの時、ああしていれば・こうしていれば、(我が子)を失うような悲しい事故は起きなかった。ほんの数分・数秒違えば、この残酷な現実回避できたかもしれない。それがこのような結果になってしまったのは、そこに何か意味があると思うのです。

子供とふれ合える時間がいかに貴重かということ。子どもが健やかに成長するのは何よりも幸せなのだということ。日頃ないがしろにしているそのことを、(彼)が命に代えてまで教えようとしたそのことを、この本を通して考えてもらえれば幸いです。～

※()内の言葉は、表現を変えています。



自分の「命」があること、そして、毎日楽しく生活できることを当たり前と思わず、感謝して、命という時間を大切にしたい人になってほしいと心から願っています。

なお、西海東小学校図書室には、絵本『33この机』が15冊あります。ぜひ、御家庭でもこの絵本を親子で読んでいただき、命の大切さを改めて感じてほしいと思います。